

# 食流機構

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構  
<https://www.ofsi.or.jp/>

2024

3月号

No.339

## I N D E X

- 巻頭言 ②
- 第33回 優良経営食料品小売店等表彰事業 受賞店決定 ④
- 令和6年能登半島地震に係る  
「支援パッケージ」の取りまとめ公表 ⑥
- <日本政策金融公庫>中小企業景況調査  
(2024年1月調査) 結果について ⑥
- <首相官邸>春季労使交渉の開始に先立ち  
政労使の意見交換に総理が出席 ⑦
- <農林水産省>インボイス制度に関するパンフレットのご案内 ⑦
- 農林水産統計情報 ⑧



第11回食品産業もったいない大賞表彰式典 受賞者の皆様  
(令和6年2月13日表彰式開催 於：内幸町ホール)

# 巻頭言

ピネラ元チリ大統領が急死した。

2月6日、休暇先のチリ南部のランコで自ら操縦していたヘリコプターが湖面に墜落して亡くなった。

先月の巻頭言のアルマ望遠鏡の開所式の記述で同大統領に言及し写真も掲載した直後の訃報であったので大きな衝撃を受けた。

同大統領の一期目の2年半が小生の駐在期間と重なり、いろいろな場面でお会いしたところであり、突然の訃報に接し、その時々の大統領の面影が蘇ってくる。

ピネラ大統領は、ピノチェット軍事独裁からの民政移管後20年ほど続いた中道左派政権から初めて中道右派として政権を引き継ぎ、チリ経済の発展に尽力した。2期目には、地下鉄運賃値上げを端緒とする反政府運動に見舞われ、必ずしも思い通りの政権運営ができなかったきらいがあるが、チリの長い国政の歴史に大きな足跡を残したと思う。2010年の夏に起きた銅鉱山における落盤事故で閉じ込められた33人の鉱山労働者を救出して世界中の称賛を浴びたことを覚えている方も多いであろう。

チリ経済の国際化をすすめ、多くの国、地域とのFTAを推進した。特にアジア・太平洋諸国との貿易・経済関係強化の意向が強く、太平洋同盟 (Alianza del Pacífico) などを推進した。

この経済政策の路線はピノチェット政権時代から受け継がれたもので、いわゆるシカゴボーイズと言われる経済学者などを登用した自由主義的で堅実な経済財政運営である。ピネラ政権前に続いた中道左派政権もその政策を基本的に維持した。ピネラ大統領は、それをさらに強力に推進、開放経済を推し進め、海外からの投資を積極的に招き入れた。私の任期中は資源価格高騰による好景気であったこともあり、銅山を中心に日本からの巨額の投資が相次いだ。

アジア・太平洋との関係強化ということと中国との関係を重視したのではと思われるかもしれないが、ピネラ大統領はむしろ日本との関係を非常に重んじていた。

チリ、メキシコ、コロンビア、ペルーからなる太平洋同盟はアジア・太平洋に開かれた非常にレベルの高い経済連携の取り組みであり、2012年6月にその基本協定締結会合を主催したピネラ大統領は、オブザーバーとしてカナダ、オーストラリアとともにアジアからは日本を招待した。小生が日本を代表して出席するという荣誉にあずかった。



2012年6月、チリ北部パラナルで開催の太平洋同盟首脳会議、左から3人目から、ウマラ・ペルー大統領、サントス・コロンビア大統領、ピネラ・チリ大統領、カルデロン・メキシコ大統領（いずれも当時）、右端、筆者。



2012年3月ピネラ大統領訪日時、日智経済委主催昼食会、右から、ピネラ大統領、佐々木日智経済委員会委員長（当時）、筆者。



2013年5月 モアイ像贈呈式 (南三陸町ホームページより)

ピネラ大統領は私の在任中の2012年3月に日本を公式訪問された。この際ピネラ大統領は、震災後の宮城県南三陸町を訪れ、1960年のチリ地震津波被害に関連してチリ政府の協力により設置されていたモアイ像が東日本大地震の津波で流されたことを知り、新たなモアイ像を寄贈することを約束された。

このモアイ寄贈を当初から企画していたチリ経済界のエスペランサ委員会の手により2013年にイースター島の石を掘り出して造ったモアイ像が船で日本まで送られ、三菱商事を中心とする日本側受入れ

委員会の協力により、南三陸町のさんさん広場に設置された。(その後、「うみべの広場」に移設された。)

余談ながら、このモアイのこともあって小生はチリ在任中4回もイースター島を訪問することになった。

ピネラ大統領は非常に優秀な方であった。ハーバードで経済学博士号を取っており、英語も流暢であった。私が着任直後陛下の信任状を奉呈した際、本来であれば通訳を使ってでもスペイン語でやり取りすべきであったと思われるが、なんのこだわりもなく英語で親しく談笑してもらった。非常に記憶力がよく、演説原稿や発言メモなどは一度読めばすぐ覚えてしまう方であった。チリの毎年の鉱山審議会夕食会 (Cena Anual del Consejo Minero) では、世界中から集まった投資家等のまえで20分以上にわたる演説をほとんど原稿なしで行っていた。また、日本訪問の際、野田総理との首脳会談の際に官邸の玄関でお迎えすると、乗りつけた車の中でメモに目を通され、数秒お待ちするということがあった。もちろん、総理との会談はメモなどは全く見ないでこなされた。



ピネラ大統領夫妻と。

ピネラ大統領は、2月9日に国葬をもって手厚く送られた。サンチャゴの旧国会議事堂に遺体が安置され多くの人が別れを惜しんだ。沿道では多くのチリ市民が大声で大統領の名前を呼び、その功績を称えた万雷の拍手が鳴り止まなかった。

ご冥福をお祈りしたい。

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構  
会長 村上 秀 徳



## 第33回 優良経営食料品小売店等表彰事業 受賞店決定

当機構では、農林水産省及び日本経済新聞社、そして日本政策金融公庫にご後援いただき、「優良経営食料品小売店等表彰事業」を実施しています。

この事業では、経営内容、仕入の工夫、販売促進、店舗管理、コスト削減、情報管理、人材育成等に焦点をあて、斬新な経営技術と業種の特性を発揮し、地域社会に密着しつつ収益性と成長性の高い経営により業績を上げている食料品小売店や商店街を発掘のうえ、表彰を行っています。

このたび2回の審査委員会を経て、下記各賞合計66点(内、組合・商店街1点)の受賞が決定しました。表彰式典については、令和6年2月28日(水)に東京都千代田区学士会館にて執り行われました。各店舗の経営ノウハウデータはホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

### 第33回 優良経営食料品小売店等表彰 受賞店 (敬称略・屋号略)

農林水産大臣賞 (3店)			
業種	受賞店名	代表者名	店舗所在地
専門食料品小売業(米穀)	有限会社原田米店	原田 匠	鹿児島県薩摩川内市
総合食料品小売業	エスマート	鈴木 紀夫	新潟県五泉市
組合・商店街等	虹のマーケット-株式会社生き活き市場-	浜田 健三	青森県弘前市
農林水産省大臣官房長賞 (6店)			
業種	受賞店名	代表者名	店舗所在地
専門食料品小売業(食肉)	有限会社伊勢屋精肉店	雲井 慎也	三重県伊勢市
専門食料品小売業(牛乳)	株式会社S T S	三溝 誠	千葉県成田市
専門食料品小売業(米穀)	有限会社栄三田中米店	田中 輝男	埼玉県川口市
専門食料品小売業(菓子)	有限会社ボヌール・ナナ	遠山 大樹	東京都立川市
専門食料品小売業(蒲鉾)	有限会社植山かまぼこ屋	植山 吉将	鹿児島県霧島市
専門食料品小売業(茶)	有限会社原野製茶本舗	原野 弘典	福岡県八女郡広川町
日本経済新聞社賞 (6店)			
業種	受賞店名	代表者名	店舗所在地
専門食料品小売業(青果)	株式会社 amuse	江刺 誠治	北海道旭川市
専門食料品小売業(パン)	株式会社くろしゅっと	鈴木 希	岩手県奥州市
専門食料品小売業(菓子(パイ))	有限会社サンフランシスコパイハウス	本杉 円	静岡県牧之原市
専門食料品小売業(菓子)	合同会社 nicotto	上國料 聡	鹿児島県始良市
専門食料品小売業(蒲鉾)	和歌濱かまぼこ株式会社	奥村 武弘	和歌山県和歌山市
専門食料品小売業(ナッツ類)	AMBESSA & CO	君島 悠矢	千葉県南房総市
日本政策金融公庫総裁賞 (6店)			
業種	受賞店名	代表者名	店舗所在地
専門食料品小売業(鮮魚)	合資会社魚ぎ	内藤 彰俊	岐阜県岐阜市
専門食料品小売業(花き)	株式会社花茂	大矢 みな	千葉県市原市
専門食料品小売業(菓子・栗加工品)	有限会社やまえ堂	中竹 隆博	熊本県球磨郡山江村
専門食料品小売業(菓子)	株式会社菓 te-ri	椎葉 昌史	宮崎県東臼杵郡椎葉村
専門食料品小売業(地域特産品)	株式会社南美舎	櫛原 八千代	千葉県南房総市
専門食料品小売業(糍・味噌)	山崎糍屋株式会社	小森田 智哉	新潟県東蒲原郡阿賀町
(公財) 食品等流通合理化促進機構会長賞 (42店) ※次ページに続く			
業種	受賞店名	代表者名	店舗所在地
専門食料品小売業(青果)	ベジサラ舎	中本 千絵	京都府京都市上京区
専門食料品小売業(果物)	フルーツショップ松美園	松井 薫	奈良県奈良市
専門食料品小売業(青果・果実加工品)	株式会社立野商店	立野 眞生	和歌山県和歌山市

**(公財) 食品等流通合理化促進機構会長賞 (42店)** ※前ページより続く

業種	受賞店名	代表者名	店舗所在地
専門食料品小売業(鮮魚)	有限会社橋本青果	橋本 賢二	広島県広島市南区
専門食料品小売業(鮮魚)	有限会社海鮮恵	早川 喜章	千葉県千葉市稲毛区
専門食料品小売業(鮮魚)	まるよし佐藤商店	佐藤 衛	新潟県村上市
専門食料品小売業(鮮魚)	川崎鮮魚店	川崎 政治	宮崎県小林市
専門食料品小売業(食肉)	精肉店 肉の政	佐藤 政幸	宮城県気仙沼市
専門食料品小売業(食肉)	有限会社有田商店	有田 裕一	神奈川県藤沢市
専門食料品小売業(牛乳)	特定非営利活動法人 JSB デイリーサポート	北村 眞隆	大阪府箕面市
専門食料品小売業(米穀)	有限会社ニオカワ	鳩川 歩	千葉県千葉市緑区
専門食料品小売業(米穀)	有限会社戸塚正商店	戸塚 浩	神奈川県中郡大磯町
専門食料品小売業(米穀)	株式会社ピロール健康タチヤ	山本 多美枝	福井県福井市
専門食料品小売業(米穀)	服部米穀店	服部 純	愛知県名古屋市中区和区
専門食料品小売業(パン)	ル・ビリーヌ	作田 義満	東京都目黒区
専門食料品小売業(パン)	今日のおやつ noble	安田 紀子	宮崎県東臼杵郡門川町
専門食料品小売業(菓子)	ケーキ職人 ちゃっきおじさん	加藤 洋明	宮城県仙台市泉区
専門食料品小売業(菓子)	菓子匠やまもと	山本 雄二郎	千葉県館山市
専門食料品小売業(菓子)	モンブラン	渡辺 新一	新潟県佐渡市
専門食料品小売業(菓子)	有限会社乙まんじゅうや	久世 正隆	新潟県胎内市
専門食料品小売業(菓子)	有限会社羽入	羽入 由介	新潟県新潟市秋葉区
専門食料品小売業(菓子(アイシングクッキー))	icoOWL studio(アイコールスタジオ)	亀谷 康男	富山県射水市
専門食料品小売業(菓子)	糀A S O B I	中山 緑	富山県砺波市
専門食料品小売業(菓子)	株式会社御朱印	半田 雅彦	石川県小松市
専門食料品小売業(菓子)	和菓子処ひので軒	河合 博敏	静岡県湖西市
専門食料品小売業(菓子)	洋菓子エクレール	瀨瀬 進	愛知県北名古屋
専門食料品小売業(菓子)	有限会社三寿園	稲垣 宝謙	愛知県豊明市
専門食料品小売業(菓子)	石田製菓舗	石田 満	滋賀県長浜市
専門食料品小売業(菓子)	小間安老舗	畑山 直紀	京都府木津川市
専門食料品小売業(菓子)	ル・ノール洋菓子店	田中 五十六	大阪府藤井寺市
専門食料品小売業(菓子)	株式会社元町ケーキ	大西 達也	兵庫県神戸市中央区
専門食料品小売業(菓子)	株式会社カリーナステラ	庄村 憲近	兵庫県神戸市中央区
専門食料品小売業(菓子(鯛焼き))	有限会社よしお	吉尾 一成	広島県山県郡安芸太田町
専門食料品小売業(蒲鉾)	藤六かまぼこ店	高野 雄	京都府舞鶴市
専門食料品小売業(コーヒー豆)	株式会社コーヒーローストビバーチェ	前田 崇之	東京都目黒区
専門食料品小売業(自然食品)	美と健康 レンドルフ南林間	橋本 奈義	神奈川県大和市
専門食料品小売業(佃煮)	株式会社廣川	廣川 昌平	大阪府松原市
専門食料品小売業(農産加工品)	濱口商店	濱口 淳吏	兵庫県尼崎市
専門食料品小売業(ドレッシング)	株式会社 Hisheri	正木 淳	福岡県糸島市
専門食料品小売業(ざぼん漬)	三味ざぼん店	三見 守	大分県別府市
専門食料品小売業(地域特産品)	産直の駅 豆殻	阿比留 保弘	長崎県対馬市
総合食料品小売業	有限会社そうべつフレッシュプラザ	森下 裕至	北海道有珠郡壮瞥町

**(公財) 食品等流通合理化促進機構会長奨励賞 (3店)**

業種	受賞店名	代表者名	店舗所在地
専門食料品小売業(菓子)	有限会社氏郷庵かどや	呉竹 弘美	滋賀県蒲生郡日野町
専門食料品小売業(菓子)	有限会社御菓子司かつらや	大村 浩之	大阪府大阪市平野区
専門食料品小売業(菓子)	有限会社菊寿堂	小武家 達也	広島県尾道市

## 令和6年能登半島地震に係る 「支援パッケージ」の取りまとめ公表

1. 令和6年能登半島地震非常災害対策本部は、1月25日、緊急に対応すべき施策を「被災者の生活と生業（なりわい）支援のためのパッケージ」として取りまとめ公表しました。主な緊急対応策は以下のとおりです。

(1) 生活の再建

被災地の方々の命と健康を守るため、避難所等における生活環境の改善を図るとともに、住み慣れた土地に再び戻って来ることができるよう、(3)の道路、水道、学校施設等の復旧とあわせて、住まいの確保を図る。

(2) 生業の再建

地域経済を支える中小・小規模事業者、農林水産業、伝統産業、観光業における、雇用の維持や事業継続の支援を手厚く講じ、持続可能な地域経済の再生を図る。

(3) 災害復旧等

国の権限代行等により公共土木施設等の迅速な災害復旧等を推進し、将来に希望を持てる復興まちづくりを推進する。

2. 詳細については、以下のHPをご覧ください。

■パッケージ本文

[https://www.bousai.go.jp/pdf/240125\\_shien.pdf](https://www.bousai.go.jp/pdf/240125_shien.pdf)

■支援策リーフレット

①資金繰り支援

[https://www.chusho.meti.go.jp/saigai/r6\\_noto\\_jishin/shikinguri\\_leaflet.html](https://www.chusho.meti.go.jp/saigai/r6_noto_jishin/shikinguri_leaflet.html)

②小規模事業者持続化補助金（災害支援枠）、なりわい補助金、雇用・労働関係の特例措置

[https://www.chusho.meti.go.jp/saigai/r6\\_noto\\_jishin/index.html](https://www.chusho.meti.go.jp/saigai/r6_noto_jishin/index.html)

## <日本政策金融公庫>中小企業景況調査 (2024年1月調査) 結果について

1月31日に日本政策金融公庫総合研究所から、「中小企業の売上げDIはマイナス幅が縮小、売上げ見通しDIもマイナス幅が縮小」との概況の中小企業景況調査(2024年1月)が公表されました。

調査時点は2024年1月中旬、調査対象は三大都市圏の公庫取引先900社(製造業607社、建設業82社、運輸業54社、卸売業157社)です。

### <調査結果のポイント>

1. 売上げ

2024年1月の売上げDIは、12月からマイナス幅が5.5ポイント縮小し、▲3.6となった。今後3カ月(1月~3月)の売上げ見通しDIは、12月からマイナス幅が2.0ポイント縮小し、▲1.5となった。

2. 利益

利益額DIは、12月から5.2ポイント上昇し、0.1となった。

3. 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、12月から2.3ポイント低下し、4.7となった。

仕入価格DIは、12月から4.7ポイント低下し、18.4となった。

従業員判断DIは、12月から2.6ポイント低下し、5.9となった。

生産設備判断DIは、12月からマイナス幅が0.8ポイント縮小し、▲6.7となった。

詳細につきましては、日本政策金融公庫の以下のHPをご覧ください。

[https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/keikyo\\_240131.pdf](https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/keikyo_240131.pdf)

## ＜首相官邸＞春季労使交渉の開始に先立ち 政労使の意見交換に総理が出席

令和5年の春季労使交渉の賃上げ率は約30年ぶりの高い伸びとなったものの、急激な物価上昇に対して賃金の上昇が追いついていない状況にあります。

令和6年1月22日、岸田総理は、総理大臣官邸で政労使の意見交換に出席、令和5年11月15日に開催した政労使の意見交換を受けて、中小企業の労務費の転嫁対策の徹底状況などをフォローアップし、2024年春季労使交渉の開始に先立って、労使の方々との意見交換が行われました。

岸田総理は、我が国経済が30年余り続いたコストカット型経済から、所得増と成長の好循環による新たな経済へ移行するチャンスを迎えているとした上で、経済界に対して、今年の春季労使交渉について、物価動向を重視し、昨年を上回る水準の賃上げを求めました。

その上で、この夏には可処分所得の伸びが物価上昇を上回る状態を官民で確実に作り上げるとの発言があったところです。

また、我が国全体で賃金を引き上げていくためには、全従業員数の7割が働く中小企業・小規模企業における賃金引上げが不可欠であり、そのためには、労務費の価格転嫁を通じて、賃上げの原資を確保することが鍵であるとし、労務費の価格転嫁対策に全力で取り組むこと、具体的には、昨年末に決定した、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に定めた12の行動指針に沿った行動の徹底を産業界に強く要請するとともに、独占禁止法等に基づく厳正な対応を行い、適切な価格転嫁を、我が国の新たな商習慣として、中小企業間を含めて、サプライチェーン全体で定着させるとしました。

詳細については、以下のHPをご覧ください。

- 2024/1/22 政労使の意見交換（首相官邸 HP）：  
[https://www.kantei.go.jp/jp/101\\_kishida/actions/202401/22seiroushi.html](https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202401/22seiroushi.html)
- 意見交換の資料（内閣官房 HP）：  
[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii\\_sihonsyugi/seiroushi/dai3/gijisidai.html](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/seiroushi/dai3/gijisidai.html)
- 「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」（公正取引委員会 HP）：  
[https://www.jftc.go.jp/houdou/pressrelease/2023/nov/231129\\_roumuheitenka.html](https://www.jftc.go.jp/houdou/pressrelease/2023/nov/231129_roumuheitenka.html)
- YouTube チャンネルでの説明動画配信：  
<https://www.youtube.com/watch?v=vyidGpQHTJM>
- 全国ブロック説明会資料：  
<https://www.jftc.go.jp/dk/guideline/unyoukijun/romuheitenka/romuheitenka-2.pdf>

## ＜農林水産省＞インボイス制度に関する パンフレットのご案内

令和5年（2023年）10月から消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）が始まりました。

農林水産省では本制度のポイントや、農林漁業者・食品産業事業者の皆様にご留意いただきたいことなどを取りまとめたパンフレットをこの度公表しました。

詳細については、以下のHPをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/tyosei/inboisu.html>



# 農林水産統計情報

## 令和5年4月～令和6年3月までの公表予定より

([https://www.maff.go.jp/j/tokei/sokuhou/yotei/attach/pdf/index\\_nenkan\\_r5-1.pdf](https://www.maff.go.jp/j/tokei/sokuhou/yotei/attach/pdf/index_nenkan_r5-1.pdf))

農林水産省（大臣官房統計部及び各局庁等）が公表している農林水産統計について、3月に掲載予定されている生産・流通に関する資料名の一部を紹介します。

資料名	収録内容	担当課（室）
大臣官房統計部		
・作物統計調査 令和5年産飼料作物の作付（栽培）面積及び収穫量、えん麦（緑肥用）の作付面積	全国農業地域別・都道府県別・田畑別の作付（栽培）面積、10a当たり収量及び収穫量	生産流通消費統計課
・令和4年漁業産出額	魚種別産出額、都道府県別海面漁業・養殖業産出額等	経営・構造統計課
・令和4年度食品循環資源の再生利用等実態調査結果	全国の食品製造業、食品卸売業、食品小売業及び外食産業における食品廃棄物等の年間発生量、発生抑制の実施量、再生利用等実施率、再生利用した用途別実施量、可食部・製品廃棄割合等	消費統計室
・畜産物流通調査 令和5年鶏卵流通統計調査結果	全国・都道府県別の鶏卵の生産量	消費統計室
・牛乳乳製品統計調査結果 （令和5年基礎調査）	全国の経営組織別、生乳処理量規模別、常用従業者数規模別の牛乳処理場・乳製品工場数等	消費統計室
・令和4年度 6次産業化総合調査結果	農業経営体等による農業生産関連事業及び漁業経営体等による漁業生産関連事業の販売金額、従事者数等	消費統計室
・令和4年農業・食料関連産業の経済計算（概算）	農業・食料関連産業の国内生産額等	統計企画管理官

### 編集後記

▶ 改めまして、「第11回もったいない大賞」受賞の皆様方おめでとうございます。2月13日に開催された表彰式では、授与後に受賞者による事例発表が行われました。不要を必要に変え、地域のために役立つ取り組みを拜聴しました。各事例はホーム

ページに掲載されますが、当誌面でも紹介をしたいと思います。

▶ 3月となり、当機関誌を受け取って下さる方のご異動もあるかと存じます。宛先変更の場合は、恐れ入りますが下記までご一報願います。(A)

編集

## 食流機構

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-4-5 第1東ビル6F

☎ 03-5809-2175 FAX 03-5809-2183

✉ ofsi@ofsi.or.jp

ホームページ <https://www.ofsi.or.jp/>

◆2024年3月号 / 通巻339号 ◆令和6年3月1日発行

☐総務部 ☎ 03-5809-2175

☐業務部 ☎ 03-5809-2176

▼再生紙を使用しています。